PRESS RELEASE

報道関係者各位

株式会社東あられ本舗

【創業116年・両国の米菓老舗 東あられ本舗】

定番のおかき詰合せが、飛び鶴・立ち鶴のお正月限定パッケージに。お年賀限定「謹賀新年」を12月1日発売

山形県中山町の契約農家のもち米でつくる「おかき両国」「東一福」を、新年のご挨拶にふさわしい装いで。2027年の干支「丁未（ひのとひつじ）」のしおり付き

株式会社東あられ本舗（本社：東京都墨田区、代表取締役：小林宏太郎）は、お年賀限定の詰合せ「謹賀新年」を、2026年12月1日（火）から2027年1月7日（木）までの期間限定で、直営店および公式オンラインショップにて発売いたします。

当店の定番「おかき両国・東一福詰合せ」と同じ内容を、鶴を描いたお正月限定パッケージでお届けします。「開運招福」の文字と2027年の干支「未（ひつじ）」を描いたしおり、松竹梅の包装紙を添えました。相撲の町・両国で明治43年（1910年）から米菓をつくり続けてきた老舗が、いつもの味を新年のご挨拶にふさわしい贈り物に仕立てました。



お年賀限定「謹賀新年」6袋入。左：飛び鶴（東一福）、右：立ち鶴（おかき両国）。中央は2027年の干支しおり

羽ばたく「飛び鶴」と佇む「立ち鶴」。お正月だけの限定パッケージ

長寿と吉兆の象徴である鶴を、2種類の袋に描きました。金色の地に赤い帯を配し、毛筆の「謹賀新年」の文字を添えています。

- **飛び鶴**：「東一福」 一口サイズのあられ・せんべい7種入り
- **立ち鶴**：「おかき両国」 食べ応えのある江戸前おかき5種入り

箱を開けると、飛び鶴と立ち鶴が交互に並びます。お正月の食卓や、年始のご挨拶の場を明るく彩ります。



「謹賀新年」12袋入（飛び鶴6袋・立ち鶴6袋）

「開運招福」の干支しおりと、松竹梅の包装紙

詰合せには、「二〇二七年丁未歳 開運招福」の文字と未（ひつじ）を描いたしおりを添えました。新年のご挨拶の話題のひとつとしてもお楽しみいただけます。

包装紙は朱色と黄色を基調に、表面に松、側面に竹と梅をあしらった、お正月限定のデザインです。


朱色と黄色を基調にしたお正月限定の包装紙

中身は、変わらぬ定番の味

「謹賀新年」の中身は、ご贈答で長く選ばれてきた「おかき両国・東一福詰合せ」と同じです。もち米には、山形県中山町の契約農家が育てる特別栽培米「ヒメノモチ」を使用しています。さらに、佐賀県有明産の焼海苔や北海道産のおぼろ昆布など、厳選した素材を合わせて焼き上げています。

- **東一福**：あられ・せんべいを一袋に詰め合わせた、味も食感も多彩な一袋
- **おかき両国**：江戸の頃より両国で親しまれた、もち米・醤油・海苔を存分に使った贅沢な一袋

6袋入は、年始のご挨拶先で気軽にお渡しいただけるお手頃なサイズ。12袋入は定番の詰合せと同じ価格でお求めいただけ、ご家族やご親戚へのお年賀、取引先への年始のご挨拶にもおすすめです。

商品概要

商品名	謹賀新年
規格・価格	6袋入（飛び鶴3袋・立ち鶴3袋）　1,380円（税抜）／1,491円（税込） 12袋入（飛び鶴6袋・立ち鶴6袋）　2,500円（税抜）／2,700円（税込）
内容	東一福、おかき両国（干支しおり付き・お正月限定包装紙）
賞味期限	製造日より120日
特定原材料	小麦、えび
販売期間	2026年12月1日（火）～2027年1月7日（木） ※数量限定のため、期間中でも品切れとなる場合がございます
販売場所	東あられ本舗 両国本店、八千代工場直売店あられひろば、菊川駅前店、松屋浅草店、公式オンラインショップ ほか
商品ページ	https://www.azuma-arare.co.jp/SHOP/317378/216573/list.html

株式会社東あられ本舗について

1910年（明治43年）創業、今年で116年を迎える米菓メーカーです。相撲の町・東京両国で、あられ・おかき・せんべいの製造・販売を行っています。伝統を大切にしながら、時代に合わせた商品づくりを通じて、米菓のおいしさと楽しさをお届けしています。

会社名	株式会社東あられ本舗
所在地	東京都墨田区亀沢2-15-10
代表者	代表取締役 小林宏太郎
創業	1910年（明治43年）
事業内容	あられ・おかき・せんべいの製造・販売
公式サイト	https://www.azuma-arare.co.jp/

本件に関するお問い合わせ先
株式会社東あられ本舗　松田典子
TEL：03-3624-3939　／　E-mail：honten@azuma-arare.co.jp